

# KIZUNA Kyoto



NATIONAL RESCUE MEET 39TH



第39回

# 全国消防救助技術大会



主催／財団法人 全国消防協会  
後援／総務省消防庁・全国消防長会



# KIZUNA

## NATIONAL RESCUE MEET 39TH

2010年8月27日(金)

会場 京都市消防活動総合センター

「KIZUNA」をスローガンに、第三九回全国消防救助技術大会を去る八月二十七日、京都市消防活動総合センターにおいて、多くの来賓と市民を迎えて盛大に挙行了。

この大会は、救助技術の高度化に必要な基本的要素の練磨を通じて、消防救助活動に不可欠な体力、精神力、技術力を養うとともに、全国の消防救助隊員が一堂に会し、競い、学ぶことを通じて、他の模範となる消防救助隊員を育成し、全国市民の消防に寄せる期待に力強く応えることを目的として毎年開催しているものである。さらに、第三五回大会からは市民の目線に立って大会内容を研究し、全国の市民に、消防の技術の高さ、力強さ、優しさをアピールするとともに、市民の参加できる大会を目指すなど、変革を遂げながら、今年で三九回の開催を数えるに至った。

第三九回大会の開催地となったのは京都市。鴨川、桂川が流れる山紫水明のまち。伝統産業、先端産業の技術と、大学の知恵が融合するものづくりのまち。一二〇〇年を超える悠久の歴史を有し、年間五、〇〇〇万人もの観光客が訪れる国際文化観光都市である京都市において、全国から多くの市民が来場し、歴史文化と現代が調和する京都市の魅力を十分に感じられる大会となった。

大会会場は「京都市消防活動総合センター」。今大会を主管する京都市消防局が、平成二一年四月に全面運用を開始した最新の訓練施設であり、全国の消防救助隊員の熱い魂を吹き込むとともに、華々しく全国にお披露目する舞台となった。来場される市民の皆様のために、京都市関係各局の協力による事前広報や、運営要員を約五〇〇名動員し、万全の態勢を整えた。

さて、大会当日は、今夏を象徴するような猛暑。一般の方や消防関係者など約一五、〇〇〇名で埋め尽くされた会場内は、開会式を目前に猛暑に負けない熱気と興奮に包まれていた。

午前八時五〇分、迫力のオープニングビデオの後、国際消防救助隊、緊急消防援助隊をはじめ、全国九地区支部から選ばれた九六一名の精鋭たちが堂々と入場し、開催地消防長である三浦京都市消防局長の開会宣言で大会の幕は開いた。

開会式ではまず、消防使命達成のため殉職された消防隊員の御霊に対して黙とうを捧げた。国旗・大会旗掲揚の後には、大会会長である新井(財)全国消防協会会長、門川京都市長(代理)・由木京都市副市長)のあいさつ、久保消防庁長官(代理)・日本消防協会会長(代理)・秋本(財)日本消防協会理事長)、山田京都府知事、柴田京都市副市長の祝辞と続き、大会審判長の小見北九州市消防局長による審判長指示

がなされた。その後、出場隊員を代表して京都市消防局の中村隊員が力強く隊員宣誓を行った。

開会式終了後のオープニングセレモニーでは、京都を代表するプロの和太鼓パフォーマンスグループ「バチ・ホリツク」、学生のまちならではの「京都学生祭典 京炎そでふれ!」の踊り手の皆さんの2組の特別出演をいただき、「全国消防救助技術大会スペシャルステージ」が披露された。

いよいよ訓練の幕開けである。全国から選りすぐられた精鋭たちの眼差しは一段と鋭くなり、出番に臨む。救助のプロとして、また、消防本部の代表としての誇りを背に燃えさかるような熱き魂を抱く隊員の姿と、その隊員を応援する家族や仲間のは、まさに今大会のスローガンである「KIZUNA」を感じさせるものであった。磨き抜かれた技を次々と披露する隊員に、観覧席からは歓声と激励の拍手が鳴り止まなかった。

訓練の後半は、技術訓練。水上の部では、川口市消防本部、岡山市消防局の二隊が四基の起流ポンプで複雑な流れを作る水上訓練場において『流水域での救助』、陸上の部では、多治見市消防本部、徳島市消防局、京都市消防局の三隊が、山岳訓練場と救助訓練棟において『山岳救助』という京都市消防活動総合センターの最新鋭の施設を十分に活用した訓練想定により、それぞれの創意と工夫のもと先駆的な救助技術が披露された。会場で技術訓練を見守る隊員の眼差しも、細部にわたるまで吸収しようとする学びの眼となった。

閉会式が始まるまでの間は、京都市消防音楽隊と京都市消防カラーガード隊(きょうとファイヤーエンジェルズ)による特別演技が披露された。

閉会式では、各種目の入賞者を大会会長である新井(財)全国消防協会会長が表彰し、「十分な安全管理の下、参加隊員に怪我もなく無事に大会を終了することができた。大会関係者の皆様にお礼申し上げます。本大会は、陸上の部、水上の部でそれぞれ諸君は日頃鍛え抜いた気力、体力及び救助技術を遺憾なく発揮されたことは大変意義深いことと思う。本大会を一つの契機とし、今後より一層救助技術の練磨、向上に努め、地域住民の負託に応えられるよう希望する。」との講評があった。国旗降納に続いて、大会旗が三浦京都市消防局長から次期開催地の大木さいたま市消防局長に引き継がれ、大木さいたま市消防局長が次期開催地としてあいさつした。最後に、三浦京都市消防局長が閉会を宣言し、第三九回全国消防救助技術大会は幕を下ろした。

猛暑の中、京都市消防局の皆様をはじめ、大会運営に当たられました全ての方々に対し、衷心より感謝申し上げます。



# 挨拶

財団法人全国消防協会

会長 新井雄治

第39回全国消防救助技術大会の開催にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

本日は、公務ご多忙のところ、久保消防庁長官をはじめ、ご来賓多数のご臨席を賜り、このように盛大に開催できますことを厚くお礼申し上げます。

さて、この大会は、消防救助活動に必要な基本的要素を練磨することを通じて技術力、精神力を養い、全国から選抜された隊員が一堂に会し、学び競いあうことで他の模範となる消防救助隊員を育成することを目的として、昭和47年から実施しているものであります。

この間、我が国の消防救助は、隊員のためめ努力と日々の訓練の積み重ねと、救助資機材の改良・開発により、着実に発展を遂げてまいりました。

しかしながら、近年、自然環境や社会情勢の変化に伴い、災害の形態が複雑化・大規模化し、多くの住民が被害に遭われております。

我々消防機関といたしましては、ますます大きくなる安心・安全を求める国民の期待に応えるため、今後も総力を結集し各種災害の予防と被害の軽減に努め、貴い人命や貴重な財産を護るため、全力で取り組んでまいれることを、お誓い申し上げます。

参加隊員の皆さんは、本大会において、安全管理に充分に留意して、これまでの訓練の成果を存分に発揮し、所期の目的を達成するとともに、今後も、より一層の練磨・向上に努められるよう切望いたします。

本日は、全国から大勢のお客様にご来場いただき、ありがとうございます。皆様には、全国から集まった精鋭たちによる高度な技術と溢れる気力・体力に触れていただき、我々の目指します、住民の皆様とともに推進する地域総合防災力の向上にご理解とご協力をいただければ幸いです。

結びに、本日ご列席の皆様のみならずご健勝を祈念申し上げ、挨拶いたします。



祝辞  
京都府知事  
山田啓二



祝辞  
財団法人全国消防協会会長(代理)  
秋本敏文



祝辞  
消防庁長官  
久保信保



あいさつ  
京都市長(代理)  
由木文彦



次期開催地あいさつ  
さいたま市消防局長  
大木充生



審判長指示  
北九州市消防局長  
小見 彰



開会宣言・閉会宣言  
京都市消防局長  
三浦孝一



祝辞  
京都市会副議長  
柴田章喜

# 陸上の部

ロープブリッジ渡過(基礎訓練)



水平に展開された渡過ロープ二メートル(往復四〇メートル)を往路はセーラー渡過、復路はモンキー渡過する。ロープ渡過の基本的な訓練。

【標準所要時間二八秒】

## 表彰者

- 【北海道】** 南渡島消防事務組合消防本部 東谷 瞬  
西胆振消防組合消防本部 横山 直昭  
北留萌消防組合消防本部 岩崎 泰樹  
北十勝消防事務組合消防本部 東福寺孝義
- 【東北】** 五所川原地区消防事務組合消防本部 古川 敬太  
北秋田市消防本部 近藤 大斗  
宮古地区広域行政組合消防本部 佐々木秀樹  
天童市消防本部 木本 修  
仙台市消防局 平井 雄太  
白河地方広域市町村圏消防本部 星 誠司  
佐渡市消防本部 倉田 俊徳  
**【関東】** 太田市消防本部 田口 敬之

- 鹿沼市消防本部 吉澤 隆宏  
取手市消防本部 姥原 孝晴  
熊谷市消防本部 田久 輝城  
匝瑳市横芝光町消防組合消防本部 渡辺 拓也  
東京消防庁 藤沢市消防本部 上村 剛弘  
甲府地区広域行政事務組合消防本部 相馬 太志  
上田地域広域連合消防本部 田澤 秀人  
田方消防本部 黒澤 大一  
尾三消防本部 鈴木 佳祐  
各務原市消防本部 齋藤 真司  
四日市市消防本部 鍛冶舎良大  
**【東近畿】** 射水市消防本部 中村 英克  
内灘町消防本部 中野 勇希  
南越消防組合消防本部 土岐 敏毅  
湖北地域消防本部 橋本 裕平  
宇治市消防本部 増田 隆史  
宇治市消防本部 岡田健太郎  
西和消防組合消防本部 山科 悠人  
和歌山市消防局 今西 悠人
- 【近畿】** 大阪市消防局 片山 政信  
神戸市消防局 澁谷 佳彦  
倉敷市消防局 鳥取中部ふるさと広域連合消防局 平松 祐治  
尾道市消防局 高垣 健太  
萩市消防本部 青木 拓孝  
山野井慎也
- 【四国】** 高松市消防局 鴻農 拓磨  
板野西部消防組合消防本部 井内 祥善  
東温市消防本部 二神 平  
仁淀消防組合消防本部 大久保雅章
- 【九州】** 飯塚地区消防本部 霍田 一成  
佐賀広域消防局 田中 直哉  
佐世保市消防局 柴尾 一正  
熊本市消防局 大分市消防局 薩摩川内市消防局 大分市消防本部 薩摩川内市消防局 東部消防本部 松田 悠紀  
富高 裕章  
中原 和輝  
當間 大吾

はしご登はん(基礎訓練)



自己確保の命綱を結索した後、垂直はしごを一五メートル登はんする。災害建物への進入等、消防活動には欠かせない訓練。

【標準所要時間二四秒】

## 表彰者

- 【北海道】** 南渡島消防事務組合消防本部 大野 淳悟  
室蘭市消防本部 小松 真二  
札幌市消防局 大藤 真進  
北留萌消防組合消防本部 太田 都寿  
北見地区消防組合消防本部 中山 康大  
**【東北】** 八戸地域広域市町村圏事務組合消防本部 山根 達也  
にかほ市消防本部 齋藤 直哉  
大船渡地区消防組合消防本部 葛西 翼  
西置賜行政組合消防本部 高橋 尚哉  
石巻地区広域行政事務組合消防本部 岡田 啓  
伊達地方消防組合消防本部 加藤 真平  
長岡市消防本部 小林 幸司  
**【関東】** 利根沼田広域消防本部 小林 正勝  
南那須地区広域行政事務組合消防本部 鈴木 崇昭  
常陸太田市消防本部 石崎 壮平

- 鳩ヶ谷市消防本部 佐藤 弘康  
木更津市消防本部 満永 俊一  
東京消防庁 前田 雅人  
寒川町消防本部 白井 隆行  
富士五湖広域行政事務組合富士五湖消防本部 渡辺 浩明  
松本広域消防局 御殿場市・小山町広域行政組合消防本部 中島 佑  
杉山 真路  
**【東海】** 常滑市消防本部 竹内 省吾  
恵那市消防本部 森川 洋行  
伊賀市消防本部 野田 辰徳  
**【東近畿】** 富山市消防局 前田 健児  
加賀市消防本部 油谷 昌宏  
嶺北消防組合消防本部 松浦 義生  
湖南広域消防局 宇治市消防本部 平田 大介  
宇治市消防本部 村田 悠  
香芝・広陵消防組合消防本部 上山 雄也  
和歌山市消防局 奥 愛友  
堺市消防局 坂本 達哉  
加古川市消防本部 河原 吉秀  
倉敷市消防局 鳥取中部ふるさと広域連合消防局 樋口 裕真  
廣島市消防局 松嶋 晃弘  
出雲市消防本部 三村 勇介  
柳井地区広域消防組合消防本部 曾田 竜次  
渡辺 真司
- 【四国】** 高松市消防局 池田 達哉  
美馬市消防本部 梶谷 勇斗  
愛南町消防本部 山本 徹  
南国市消防本部 池澤 和之  
直方市消防本部 伊万里市消防本部 林 新吾  
長崎市消防局 伊万里市消防本部 松尾 圭太  
八代広域行政事務組合消防本部 津本 直輝  
国東市消防本部 宮園 将貴  
薩摩川内市消防局 平田 俊幸  
うるま市消防本部 松田 建也

ロープ応用登はん(連携訓練)



登はん者と補助者が二人一組で協力し、器材を使わずに塔上から垂下されたロープを一メートル登はんする。  
【標準所要時間一六秒】

表彰者

【北海道】

八雲町消防本部 浅井 勇輝  
西胆振消防組合消防本部 大島 慎吾  
札幌市消防局 庄子 哲也  
洞ヶ瀬俊喜  
日下 弦樹  
大黒 翔  
張山 敬史  
網走地区消防組合消防本部 太田 将吾

【東北】

十和田地域広域事務組合消防本部 山口 孝広  
大曲仙北広域市町村圏組合消防本部 小林 章  
木元 智昭  
熊谷健太郎  
久慈広域連合消防本部 久保 優紀  
川崎 友一  
千葉 俊和  
我妻 清和  
渡邊裕太郎  
伊藤 喜和  
佐藤 元樹  
大崎 将也

米沢市消防本部  
福島市消防本部  
長岡市消防本部

【関東】  
太田市消防本部

山崎 知幸  
矢島 大輔

石橋地区消防組合消防本部

東海村消防本部

川越地区消防局

佐倉市八街市酒々井町消防組合消防本部

東京消防庁

座間市消防本部

甲府地区広域行政事務組合消防本部

諏訪広域消防本部

島田市消防本部

【東海】

海部東部消防組合消防本部 横田 純一  
大垣消防組合消防本部 中迫 孝行  
高橋 正幸  
【東近畿】  
砺波広域圏消防本部 後藤 恭崇  
加賀市消防本部 藤原 善太  
龍太  
敬弘  
東平 孝佳  
北島 宏樹  
巖島 知史  
東近江行政組合消防本部 市川 史久  
新納 秀樹  
新内 真也  
永淵 晃之  
梅谷 嘉伸  
西田 泰士  
吉田 健之  
山本 誠  
伊都消防組合消防本部 門 健之  
伊藤 嘉伸  
中吉野広域消防組合消防本部 中野 晃之  
八幡市消防本部 八幡 真也  
宇治市消防本部 宇治 真也

嶺北消防組合消防本部

東近江行政組合消防本部

宇治市消防本部

八幡市消防本部

中吉野広域消防組合消防本部

伊都消防組合消防本部

【近畿】  
泉佐野市消防本部

豊岡市消防本部

秋山 孝史  
長與 潤平  
田仲 孝一  
小澤 智広  
坂元 大輔  
大森 康孝  
小松 政明  
佐瀬 泰弘  
加藤 勇樹  
藤野 敬太  
大矢 仁士  
岩崎 孝太  
塚田慎太郎  
武蔵 一摩  
竹内賢太郎  
河西秀太郎  
河内 英祐  
大石 浩二  
道田 浩二  
横田 純一  
笹木 孝行  
中迫 孝行  
高橋 正幸  
後藤 恭崇  
野原 善太  
中筋 龍太  
野筋 敬弘  
藤原 孝佳  
東平 宏樹  
北島 知史  
巖島 史久  
新納 秀樹  
新内 真也  
永淵 晃之  
梅谷 嘉伸  
西田 泰士  
吉田 健之  
山本 誠  
門 健之  
伊藤 嘉伸  
中野 晃之  
八幡 真也  
宇治 真也

【中国】

倉敷市消防局

鳥取中部ふるさと広域連合消防局

大竹市消防本部

雲南消防本部

萩市消防本部

【四国】  
小豆地区消防本部

みよし広域連合消防本部

西予市消防本部

香美市消防本部

【九州】

久留米広域消防本部 久留米 孝行  
平戸市消防本部 平戸 孝行  
八代広域行政事務組合消防本部 八代 孝行  
竹田市消防本部 竹田 孝行  
いちき串木野市消防本部 串木野 孝行  
二ノ伊消防本部 二ノ伊 孝行

新田 孝行

伊佐 孝行

松田 孝行

湯野 孝行

麻生 孝行

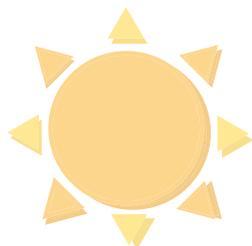
足達 孝行

野口 孝行

谷口 孝行

角田 孝行

難波 雅明  
小林 良隆  
山本 孝幸  
本多 隆志  
原 慎太郎  
松長 弘樹  
伊豆 啓市  
川端 啓市  
綿屋 啓市  
西村 誠人  
伊藤 正博  
森 一貴  
中本 裕己  
杉野 耕平  
土居 永佳  
三好 勝也  
渡辺 佐彦  
鍋島 安明  
中野 大輔  
和合 忠浩  
西山 洋一  
角田 洋一  
谷口 伸也  
野口 伸也  
足達 大輔  
麻生 拓見  
湯野 拓見  
松田 和久  
伊佐 宗哲  
新田 力



ほふく救出(連携訓練)



三人一組(要救助者を含む)で、一人が空呼吸器を着装して長さ八メートルの煙道内を検索し、要救助者を屋外に救出した後、二人で安全地点まで搬送する。ビルや地下街等で煙に巻かれた人を救出するための訓練。  
【標準所要時間一分一〇秒】

表彰者

【北海道】

日高東部消防組合消防本部 東川 雄紀  
高橋 洋介  
高城 俊  
江田 睦  
小玉 慶介  
高橋 正彰  
高橋 正久  
河地 祥平  
松本 拓平  
小川 慎司  
神山 卓朗  
佐藤 功基

上川北部消防事務組合消防本部

北十勝消防事務組合消防本部

【東北】  
八戸地域広域市町村圏事務組合消防本部

田島 進悦  
佐々木 寿晴  
工藤 忠久

能代山本広域市町村圏組合消防本部

一関市消防本部

山形市消防本部

仙台市消防局

郡山地方広域消防組合消防本部

新潟市消防局

【関東】  
太田市消防本部

小山市消防本部

鹿島地方事務組合消防本部

川口市消防本部

旭市消防本部

東京消防庁

藤沢市消防本部

甲府地区広域行政事務組合消防本部

夏井 佳成  
七尾 悠  
佐藤 章  
齋藤 哉  
千葉 直也  
菊地 友哉  
武内 裕紀  
近藤 幸寛  
佐藤 禎智  
佐藤 優次  
菅原 憲  
白鳥 好紘  
菅野 敦  
服部 雅  
永瀬 秀明  
田澤 詠司  
笠原 甲臣  
金山 拓也  
神野 敏寿  
富澤 正和  
坂上 隼祐  
小島 稔章  
鶴沼 裕次郎  
高橋 俊介  
黒澤 隆人  
小澤 善行  
櫻井 雄嗣  
増崎 成光  
田口 正教  
長原 勇介  
林 靖裕  
小澤 玄季  
梅林 啓静  
大庭 寛礼  
岡田 寛一  
松田 寛大  
野澤 寛一  
岩村 伸也  
高木 伸之  
猪股 良之  
丸茂 由理  
窪田 哲也

千曲坂城消防本部

田方消防本部

【東海】  
大府市消防本部

恵那市消防本部

桑名市消防本部

【東近畿】  
高岡市消防本部

津幡町消防本部

嶺北消防組合消防本部

湖南広域消防局

宇治市消防本部

乙訓消防組合消防本部

吉野広域行政組合消防本部

和歌山市消防局

【近畿】  
阪南岬消防組合消防本部

加古川市消防本部

新田 悟

和嶋 正章

山崎 晴久

杉山 哲也

大崎 雅矢

河端 郁弥

稲垣 健一

鈴木 和人

安藤 健太

可知 昌浩

高橋 千紘

坂口 智博

樋口 城久

青島 恒太

前川 裕樹

田中 潤也

【中国】  
津山圏域消防組合消防本部

鳥取県西部広域行政管理組合消防局

福山地区消防組合消防局

浜田市消防本部

長門市消防本部

【四国】  
三観広域行政組合消防本部

海部消防組合消防本部

西条市消防本部

高幡消防組合消防本部

【九州】  
甘木・朝倉消防本部

鳥栖・三養基地区消防本部

平戸市消防本部

八代広域行政事務組合消防本部

豊後高田市消防本部

水島 大介

曾田 康司

北本 拓士

足立 健

齋木 誠英

大谷 祐司

高橋 清平

川上 清明

高野 和臣

平野 聡志

藤井 将平

岩本 伸也

泉 雅健

三井 浩一

坂本 直紀

佐子 雄太

薩摩川内市消防局

うるま市消防本部

砂田 雅和  
原 直生  
堀之内 幸夫  
田場 健  
名護 剛  
源古 剛

ロープブリッジ救出(連携訓練)



四人一組(要救助者を含む)で、二人が水平に展張された渡過ロープ(二〇メートル)により対面する塔上へ進入し、要救助者を救出した後、脱出する。要救助者を隣の建物等から進入し、救出することを想定した訓練。  
【標準所要時間一分一五秒】

表彰者

【北海道】  
函館市消防本部

網走地区消防組合消防本部

畑山 遼吾  
荒木 賢太郎  
鳥羽 孝祐  
小原 浩之  
松田 俊樹  
石井 俊樹  
伊成 強

【東北】盛岡地区広域行政事務組合消防本部

魚沼市消防本部

新潟市消防局

【関東】常陸太田市消防本部

茨城西南地方広域市町村圏事務組合消防本部

さいたま市消防局

所沢市消防本部

春日部市消防本部

東京消防庁

東京消防庁

秦野市消防本部

富永 浅田 滝本 川田 仲間 金子 白井 田邊 池田 佐藤 近藤 鈴木 鈴木 大橋 阿部 野崎 中川 市川 貝塚 小栗 栗原 大西 児矢野 岩永 川村 加藤 横山 西野 瀬谷 井坂 佐野 金子 吉沢 山岸 大塚 櫻井 高橋 榎本 高橋 工藤 久保 千葉 崇史

藤沢市消防本部

【東海】

海部南部消防組合消防本部

下呂市消防本部

【東近畿】高岡市消防本部

加賀市消防本部

城陽市消防本部

吉野広域行政組合消防本部

【近畿】

柏原羽曳野藤井寺消防組合消防本部

柏原羽曳野藤井寺消防組合消防本部

【中国】江津邑智消防組合消防本部

山本 金子 水黒 小村 西岡 森 阪本 松本 梶井 宮下 野村 家本 榎本 松本 有留 湯浅 河田 内田 河山中 西山 白川 東田 鈴木 平野 堂島 中島 熊崎 中島 岡崎 白神 鈴木 水野 山田 森 櫻井 長岐 智弘

鳥取県西部広域行政管理組合消防局

【四国】

伊予消防等事務組合消防本部

【九州】飯塚地区消防本部

粕屋南部消防本部

人吉下球磨消防組合消防本部

藤戸 佐藤 佐々木 高田 大野 谷 阪井 井ノ口 吉田 松本 神崎 吉本 加治 井島 矢羽 上 菅 谷川 西本 宮本 隆浩 努

表彰者

【北海道】函館市消防本部

【東北】盛岡地区広域行政事務組合消防本部

南魚沼市消防本部

新潟市消防局

【関東】さいたま市消防局

入間東部地区消防組合消防本部

鎌ヶ谷市消防本部

浦安市消防本部

竹内 俊司 長岐 優大 古田 真樹 大橋 諒 蒔苗 多有磨 小赤澤 文人 菊池 真歩 谷藤 諒 川端 雄仁 和山 洋史 上村 啓太 貝瀬 史匡 五十嵐 史大 片桐 晃裕 柳 千幸 高野 裕 渡辺 寛喜 清水 大介 平 大 齋藤 圭輔 柴崎 充宏 齋藤 剛 山本 俊隆 山田 隆 足立 俊 山田 伸夫 池田 仲夫 吉田 努 森山 祥一 田中 裕潤 照井 正明 日暮 孝明 小笠原 孝明 萩野 隆慶 多田 隆浩 金谷 俊寿 泉澤 貴幸 安藤 俊吾 和田 将司 宇田川 佳孝 松野 公博

五人一組（要救助者を含む）で、二人が空気呼吸器を着装して塔上から塔下へ降下し、検索後、要救助者を塔下へ搬送し、四人で協力して塔上へ救出した後、ロープ登はんにより脱出する。地下やマンホール等での災害を想定した訓練。  
【標準所要時間一分三〇秒】



引揚救助（連携訓練）

東京消防庁

川崎市消防局

【東海】  
豊田市消防本部

西尾市消防本部

【東近畿】  
宇治市消防本部

西和消防組合消防本部

湖南広域消防局

【近畿】  
高槻市消防本部

豊中市消防本部

中井 拓馬

浅井 洋二

勝沼 達也

山本 信一

竹内 悟

繁野 亮弘

岩佐 信二

河村 政美

福永 宏樹

長谷川 知宏

橋本 英二

近藤 健太

林 貴裕

茅原 玄喜

田中 三郎

田村 大樹

神谷 陽行

宮崎 芳久

名倉 陽介

中根 陽介

鹿野 孝彦

前原 一彦

浅井 暖之

小松 勉

本西 尊徳

鳥野 克彦

今西 亨

澤井 太郎

中田 雄一

西野 直樹

青木 隆幸

八木 謙治

猪飼 佳史

木虎 健史

岸田 優一

北側 健太

星川 雅英

下岡 哲也

坂口 周平

蘆田 幹雄

細谷 孝明

坂原 隆雄

塩見 悠祐

實松 光太郎

【中国】  
福山地区消防組合消防局

種本 健太郎

小川 耕司

宮脇 信也

松本 直貴

田上 完二

小川 修

岩見 有介

渡井 和豪

北島 義文

岸本 崇嗣

川久保 輝巳

中村 明

前野 弘隆

山崎 崇史

山本 辰彦

川邊 剛聖

井福 尊寛

石川 敬幸

尾中 雅治

安川 智彦

大村 修貴

城戸 秀太

野田 秀樹

世利 哲治

柏屋南部消防本部

筑紫野太宰府消防組合消防本部

【九州】  
県央地域広域市町村圏組合消防本部

板野東部消防組合消防本部



障害突破(連携訓練)

五人一組(補助者を含む)で、四人が緊密な連携の下、一致協力して「乗り越える」「登る」「渡る」「降りる」「濃煙を通る」の基本動作により五つの障害を突破する。災害現場の様々な障害を想定した訓練。  
【標準所要時間二分一五秒】

表彰者

【北海道】  
札幌市消防局

青野 康平

八木 輝人

大川 和彦

石栗 亮佑

佐藤 裕之

【東北】  
一関市消防本部

荒屋敷 望

鈴木 寛也

菊池 憲哉

菅原 正憲

三浦 康之

喜多方地方広域市町村圏組合消防本部

伊藤 和司

草刈 利和

佐藤 雅彦

渡部 和之

小林 真也

伊藤 貴人

渡邊 真一

高橋 直之

長谷川 裕二

阿部 亮

三村 厚

稲川 弘二

岩佐 根誠

海老根 政彰

竹之内 政彰

常総地方広域市町村圏事務組合消防本部

椎名 秀和

中川 隆太

山上 直宏

市野 大樹

根本 史人

さいたま市消防局

船橋市消防局

川崎市消防局

焼津市消防防災局

【東海】  
愛西市消防本部

豊田市消防本部

【東近畿】  
高岡市消防本部

京都市消防局

福知山市消防本部

明比 佳史

小沢 貴晴

中山 久

小嶋 雅久

福島 幸司

澤田 忠司

岩上 修司

宇賀田 一将

荒野 純平

上野 剛

浦野 純平

秋谷 勇樹

清水 敦史

福嶋 勇斗

吉房 拓翼

原崎 卓

若林 秀卓

望月 之介

堀井 俊輔

田中 啓介

中野 裕介

橋本 昌樹

神田 優樹

渡邊 直樹

伊藤 宏紀

柴田 宏紀

大山 時宗

尾形 徹也

藤井 崇哉

石原 潤哉

竹林 剛

森田 泰則

松田 啓吾

長谷川 昌紀

山本 充

丸田 純佑

中村 優三

平瀬 雅基

新田 宜広

西川 千尋

人長 亮太

牧野 孝昭

石野 拓郎

中須賀 康誠

井本 裕也

【近畿】  
神戸市消防局

【中国】  
広島市消防局

【九州】  
鹿児島市消防局

薩摩川内市消防局

天草広域連合消防本部

# 水上の部

基本泳法(基礎訓練)



三浦 直樹  
上原 拓真  
北濱 雄一  
永井 康道  
酒井 大輔

下石 康平  
泉 浩平  
中村 洋佑  
落藤 誠三  
勇地 一成

寺田 一紀  
吉本 博史  
木村 慎一郎  
岩坪 浩明

中窪 太作  
竹下 和志  
福別 光敏  
岡本 翔

濱崎 寛  
松田 俊輔  
武田 信也  
池崎 王彦  
荒木 克広

「じゅんか飛び込み」で入水した後、常に顔が水面に出た状態で、基本的な泳法である「ぬき手」と「平泳ぎ」でそれぞれ二五メートルずつ泳ぐ。水難救助の基本的な泳法を習得するための訓練。  
【標準所要時間四〇秒】

## 表彰者

【東北】  
大曲仙北広域市町村圏組合消防本部  
鶴岡市消防本部  
仙台市消防局

佐藤玲緒奈  
阿部 孝一  
佐々木浩司

【関東】  
伊勢崎市消防本部  
朝霞地区一部事務組合埼玉県南西部消防本部

柏木 耕輔  
中川 祐輔  
吉成 真吾  
加賀田 哲也

【東海】  
越谷市消防本部  
横浜市消防局  
寒川町消防本部  
川崎市消防局  
平塚市消防本部  
浜松市消防局  
焼津市消防防災局

山田 昌亮  
小寺 史高  
有澤宏太郎  
谷口 孔二

【東近畿】  
高岡市消防本部  
大津市消防局  
京都市消防局  
京都市消防局

【近畿】  
枚方寝屋川消防組合消防本部  
京都市消防局

【中国】  
神戶市消防局  
岡山市消防局  
赤磐市消防本部  
【四国】  
丸亀市消防本部

【九州】  
長崎市消防局  
八代広域行政事務組合消防本部  
菊池広域連合消防本部

## 複合検索(基礎訓練)



マスク、スノーケル、フインを着装し、スノーケリングで障害物(救命浮環)を突破しながら水中に沈められたリング四個を検索して、引き揚げる。水中の行方不明者の捜索を想定した訓練。  
【標準所要時間四〇秒】

## 表彰者

【東北】  
秋田市消防本部  
大船渡地区消防組合消防本部  
いわき市消防本部  
【関東】  
朝霞地区一部事務組合埼玉県南西部消防本部

澁谷 嘉直  
吉田京太郎  
平子 信吾  
中嶋 建  
石川 裕亮  
神野 友佑  
竹田 聖  
横須賀市消防局  
藤沢市消防本部  
川崎市消防局  
静岡市消防局

【東海】  
豊田市消防本部  
名古屋市消防局  
【東近畿】  
東近江行政組合消防本部  
大津市消防局

【東北】  
東京消防庁  
東京消防庁  
茅ヶ崎市消防本部  
横須賀市消防局  
藤沢市消防本部  
川崎市消防局  
静岡市消防局

京都市消防局  
京都市消防局  
京都市消防局  
【近畿】  
守口市門真市消防組合消防本部

小西 立紘  
山中 徹郎  
山崎 正昌  
山崎 亮人

【中国】  
神戸市消防局  
岡山市消防局  
出雲市消防本部

今田 健介  
板垣 慶太  
田中 陸央

【四国】  
三観広域行政組合消防本部  
【九州】  
鳥栖・三養基地区消防事務組合消防本部  
水俣芦北広域行政事務組合消防本部  
高遊原南消防本部

下橋 佑亮  
山田 容輔  
福岡 雄樹

## 溺者搬送(連携訓練)



二人一組(要救助者を含む)で、救助者が「じゅんか飛び込み」で入水後、要救助者(溺者)を注視しながら近づき、チンプールで確保した後、ヘアークヤリーにより救助する。  
【標準所要時間四二秒】

## 表彰者

【東北】  
横手市消防本部  
新宮 良憲  
中川原 誠

大船渡地区消防組合消防本部

【関東】川口市消防本部

東京消防庁

藤沢市消防本部

横浜市消防局

川崎市消防局

【東海】名古屋市消防局

岐阜市消防本部

【東近畿】

白川石川広域消防本部

大津市消防局

京都市消防局

【近畿】

枚方寝屋川消防組合消防本部

神戸市消防局

【中国】

岡山市消防局

【四国】

高松市消防局

【九州】

熊本市消防局

豊後大野市消防本部

梅澤 聖史  
吉田京太郎

平野 哲朗

田家方梨子

尾崎 修也

長崎 雄介

天野 康介

山口 博之

花輪 博之

宮本 直也

森 直也

上田 将之

妹尾 康央

足立 真規

森 隆行

小坂 寛之

北村 慎吾

清水 泰博

谷口 孔二

鎌近 真行

中川 賢志

西口 幸仁

皇中 宏聡

有田 達洋

井上 奈緒

濱田 佑樹

西山 孝浩

竹田 匡徳

滝川 潤

山田 健一

堀 祐介

小代 智之

姓田 淳一

人命救助(連携訓練)



三人一組(要救助者を含む)で救助者が「二重もやい結び」のロープをたすき掛けにして要救助者の位置まで泳ぎ、要救助者をクロスチェストキャリアーで確保し、補助者が救助ロープをたぐり寄せ、救助した後、再び水没しつある要救助者(訓練人形)を水面に引き揚げ、救助する。

【標準所要時間一分二秒】

表彰者

【北海道】札幌市消防局

【東北】鶴岡市消防本部

【関東】東京消防庁

【東海】横浜市消防局

【九州】名古屋市消防局

大西 範彦

荒川 拓也

大賀 徹

大西 拓也

荒川 拓也

大賀 徹

大西 範彦

荒川 拓也

大賀 徹

大西 範彦

【東近畿】大津市消防局

京都市消防局

【中国】広島市消防局

【四国】徳島中央広域連合消防本部

【九州】熊本市消防局

北沢 充

大野 仁志

山本 浩明

藤田 史明

大橋 賢志

中川 史明

柴田 卓

石崎 智彦

竹下 勝彦

赤松 洋行

奥村 一行

寺井 一行

緒方 直樹

一村 辰男

堀 祐介

【北海道】札幌市消防局

【東北】横手市消防本部

大船渡地区消防組合消防本部

【関東】那珂市消防本部

東京消防庁

川崎市消防局

焼津市消防防災局

【東近畿】大津市消防局

京都市消防局

【近畿】枚方寝屋川消防組合消防本部

【中国】呉市消防局

表彰者

大西 範彦

荒川 拓也

大賀 徹

新宮 良憲

松井 諭

照井 諭

中平 光

石橋 良

村上 浩朗

野上 寿幸

後藤 亮祐

永井 孝裕

大松 逸人

竹内 豪一

尾崎 雄介

阿部 慶之

鈴木 一之

和田 翔太

望月 孝

酒井 正樹

大沢 憲

山中 創

千尋 亮一

竹内 完治

西口 幸仁

竹本 暢

中上 洋平

濱田 健太郎

須賀 政光

山口 武文

三人一組(要救助者を含む)で救助者と補助者の二人が協力して浮環にロープを結着後、補助者が浮環をプール内へ投下して救助者が二メートル先の要救助者の位置まで搬送し、これに要救助者をつかまらせ、補助者がロープをたぐり寄せて救助する。

【標準所要時間四三秒】



溺者救助(連携訓練)

【標準所要時間一分二秒】

表彰者

【北海道】札幌市消防局

【東北】鶴岡市消防本部

【関東】東京消防庁

【東海】横浜市消防局

【九州】名古屋市消防局

豊後大野市消防本部

熊本市消防局

高松市消防局

岡山市消防局

神戸市消防局

枚方寝屋川消防組合消防本部

【北海道】札幌市消防局

【東北】横手市消防本部

大船渡地区消防組合消防本部

【関東】那珂市消防本部

東京消防庁

川崎市消防局

焼津市消防防災局

【東近畿】大津市消防局

京都市消防局

【近畿】枚方寝屋川消防組合消防本部

【中国】呉市消防局

表彰者

大西 範彦

荒川 拓也

大賀 徹

新宮 良憲

松井 諭

照井 諭

中平 光

石橋 良

村上 浩朗

野上 寿幸

後藤 亮祐

永井 孝裕

大松 逸人

竹内 豪一

尾崎 雄介

阿部 慶之

鈴木 一之

和田 翔太

望月 孝

酒井 正樹

大沢 憲

山中 創

千尋 亮一

竹内 完治

西口 幸仁

竹本 暢

中上 洋平

濱田 健太郎

須賀 政光

山口 武文

【四国】伊予消防等事務組合消防本部

【九州】熊本市消防局

熊本市消防局

二宮誠一郎  
山口晃典  
廣藤真至  
山田健一  
田野尋志  
荒木諭志  
波部大輔  
服部大輔  
山口将弘

水中結索(連携訓練)



三人一組で水中の結索環に、第一泳者は「もやい結び」、第二泳者は「巻き結び」、第三泳者は「ふた回りふた結び」のそれぞれ指定された三種のロープ結索を行う。水中におけるロープ結索技術を習得するための訓練。

【標準所要時間一分四六秒】

表彰者

【東北】

八戸地域広域市町村圏事務組合消防本部

福田智裕  
岡本健児  
菊池大典

いわき市消防本部

【関東】東京消防庁

東京消防庁

東京消防庁

横浜市消防局

【東海】名古屋消防局

【東近畿】大津市消防局

京都市消防局

【近畿】神戸市消防局

【中国】鳥取県東部広域行政管理組合消防局

【四国】松山市消防局

【九州】熊本市消防局

大隅肝属地区消防組合消防本部

猪狩光博  
戸部慎也

南慧司

提橋敦司

上澤勇太

渡邊裕太

岸高史

伊藤毅

大澤一真

伊藤剛史

黒島和司

長戸敬介

澤田将人

大橋史明

松川智樹  
嶋田貴樹  
大川史明  
長戸敬介  
黒島和司  
伊藤毅  
大澤一真  
伊藤剛史  
阿部冬樹  
酒匂政行  
佐藤健太郎  
伊藤逸人  
岸高史  
大松高史  
伊藤毅  
佐藤健太郎  
酒匂政行  
阿部冬樹  
程島弘成

水中検索救助(連携訓練)



四人一組で第一泳者が水面を、第二泳者が水中をそれぞれ検索し、水没している要救助者(訓練人形)を発見して水面へ引き揚げた後、第三泳者と第四泳者が協力して対岸の救出地点まで搬送し、救助する。

【標準所要時間一分四二秒】

表彰者

【東北】大船渡地区消防組合消防本部

【関東】東京消防庁

川崎市消防局

【東海】小牧市消防本部

中平良光  
石橋聖史  
梅澤浩朗  
村上聖史  
有我裕介  
神野一貴  
山本昭彦  
榮本慶之  
阿部直也  
宮本直也  
富永新剛  
石井洋行  
冲下英次  
山下恭史  
稲葉智文

【東近畿】大津市消防局

京都市消防局

【近畿】大阪市消防局

【中国】松江市消防本部

【四国】高松市消防局

【九州】鳥栖・三養基地区消防事務組合消防本部

長戸将人  
澤田仁志  
大沢貴哉  
徳永智樹  
松川貴樹  
嶋田貴樹  
山中徹郎  
小西立紘  
長船勇毅  
橋本勇毅  
前田和範  
東園絢也  
山本康博  
松尾行洋  
高橋啓太  
高橋良樹  
中村俊介  
鎌野高義  
稲田和之  
安部雅史  
山本康博  
松尾行洋  
高橋啓太  
高橋良樹  
中村俊介  
鎌野高義  
稲田和之  
安部雅史  
山本康博  
松尾行洋  
高橋啓太  
高橋良樹  
中村俊介  
鎌野高義  
稲田和之  
安部雅史



### 技術訓練

定められた救助方法や資器材に縛られることなく、創意工夫のもとで、より安全で迅速・確実な訓練を発表するもの。

## 陸上の部

【東海】  
多治見市消防本部

原路 陽一  
工藤 久宏  
小栗 史成  
松浦 達弥



(想定)

林道を走行中の車両が誤って数メートル下の沢に転落し、運転者が車外放出され、車両の下敷きになったもの。  
林道上から隊員及び医師が、ザイルを使用し降下、要救助者の観察を実施、医師が必要な処置を施し、事故車を持ち上げ救出し、ストレッチャーに縛着し林道まで引揚げ救出する。

(着眼点)

① 小隊長の状況判断に伴う、隊長の状況判断及び隊員への周知  
② 安全確保管理の徹底  
③ 医師との連携  
\* 当消防本部では、救助事案等にドクターカー(DMERC)を要請する。

【四国】

徳島市消防局

高田 真吾  
吉永 猛  
原田 雅弘  
新田 貴徳  
後藤田 真吾

(想定)

地上14mの地点で法面工事中の作業員1人が熱中症等の内的疾患により意識を失い、ハレイラインとメインラインによって、ハーネスで宙吊り状態になっているもの。  
なお、崖上までの車両進入路は狭隘であり、救急車収容から病院搬送までの時間が長時間を要すると判断されることから、隊員及び資器材を崖上に投入し、救急車接近が容易で病院搬送時間が短縮される崖下へ「斜め張込み救助」にて救出する。チームは状況に応じた救出方針及び資器材の選定とする。



(着眼点)

① 限られた人員での安全、確実、迅速な救助  
② 早期救出を主眼に置いた救出方法の選定

【開催地】

京都市消防局

樹田 和久  
喜多 光晴  
泉義 基  
辻横 喬弘  
中員 真人

(想定)

「地上から約7メートル下方の山岳壁面の中腹に、要救助者(名目あり)である。このような救助活動現場は、通常であれば地上部分から引揚げ救出により対応する。しかし、本現場では1名を救出完了した時点において山岳壁面に崩落が発生し、活動方針の変更を余儀なくされる」という想定で、もう1名の要救助者に対して、限られた隊員数でいかに安全、迅速かつ確実に救助者を地上部分及び



(着眼点)

① 事故現場状況及び緊急事態発生に伴う、隊長の状況判断に基づく活動方針決定及び隊員への周知  
② 安全、迅速かつ確実な救出方法の選択、救出手順の徹底  
③ 状況に適した資器材の使用

## 水上の部

【関東】  
川口市消防本部

金子 浩三  
白田 准一  
栗飯原 啓之  
平野 哲郎  
田中 正人  
竹内 浩祐

(想定)

「荒川で釣りをしていた男性が、誤って転落し、水没したものと。目撃者からの情報により水没位置を確定し、早期に検索方法を決定し活動を開始する。(環状検索)環状検索で要救助者を発見できなかった場合を考慮し、環状検索の設定と同時に下流に向かって、ジャックステイ検索用の基線を展張し、設定を行う。」

3名での環状検索では、要救助者の発見には至らず、直ちにジャックステイ検索に移行し再検索を開始する。検索活動中に要救助者を発見。検索員が集結し浮上しようとしたところ1名が水中拘束したため浮上ができず、2名の隊員で水面まで要救助者を搬送する。

水難救助隊長に報告し、水面に待機していたスタンバイダイバーと、



(着眼点)

① 環状検索からジャックステイ検索への移行のための設定要領  
② 隊員にトラブルが発生した場合の回避方法  
③ 状況に適した資器材の使用

【中国】  
岡山市消防局

枝本 恒雄  
堀川 直彦  
齋藤 雅之  
谷本 康幸  
野上 貴史  
中村 望  
安原 康右  
服部 良介  
柴山 幸範

(想定)

カヌーで溪流下りをしていた男性1名が操船を誤り横転、乗船したままの状態が岩と岩との間に動水圧によって押し付けられ、自力脱出できなくなったもの。水深は不明、流速は毎秒2.5m、兩岸からのアプローチは可能であるが、上流、下流とも対岸へ渡るための橋は500m以上離れているものとする。なお、河川の形状から、災害点の上流約20m付近は流れが弱くなっており、気象状況や川の形状により、さまざまに状態を変えます。さらに、動水圧や漂流物も加わり、救助活動は大変危険性が高く、困難を極めます。

このような状況の中、救助者の安全を確保しつつ、常に要救助者の状態を分析し、いかにして苦痛の軽減を図りながら、確実、迅速に救出できるかをチームに活動します。



第39回

全国消防救助技術大会

～市民インタビュー～

【はやぶさ保育園の皆様】

社会福祉法人

志心福祉会

はやぶさ保育園

● 普段から防災訓練などでお世話になっている京都市消防局の方からご招待をいただいたので、園児達が応援用の看板を作成し、救助隊の皆さんの活躍を応援しにきました。

● 実は、当園の卒園生がロープ应用登はんに出場しているの、成長した姿を見るのがとても楽しみです。

● 救助隊の方々の訓練に取り組んでいる姿や迫力のある動きを目の前で観ることができ、とても興奮しています。また、この大会は、救助の大会だけではなく、いろいろな体験コーナーや展示物、スタンプリーもあって園児達はとても喜んでいきます。

● 消防の皆さんの子供たちに接する時の優しさ、訓練の時の力強さなどを感じて、強くて優しい子供たちに成長してほしいと思います。

● 帯田さん・松元さん・竹下さん

● 今日は、夫が障害突破に出場しているのを見に来ました。

● 障害突破メンバー5人の念願だった全国大会に出場することができ、とても



● もうれしく思っています。日頃から訓練を頑張っていたので入賞してほしいです。人の命を守るために頑張っている姿やどんなにつらい現場活動でも決して家庭に持ち込まず家族のために過ごしてくれる姿、とても尊敬しています。

● 藤田さん、備後さん、唐田さん

● 友人が救助大会に出場するということなので、応援するために来場しました。

● これだけの暑さの中、機敏に動く隊員の皆さんの体力、技術などにすごく驚きました。

● また、普段から厳しい訓練をされているの、と改めて感じました。競技を見て、隊員の皆さんの真剣な表情に、消防に対する信頼感が増えます。ますます強くなり、イメージが変わりました。



**財団法人全国消防協会**  
Firefighters' Association of Japan

— 安心への選択 —

**消防職員とその家族を守る団体保険です！**

全国消防グループ保険（生命保険）

消防職員医療保険（損害保険）

消防職員傷害保険（損害保険）

消防職員賠償責任保険（損害保険）

(財)全国消防協会の消防団体保険は、全国16万人の消防職員の助け合いの制度です。消防職員とそこご家族の皆様の福利厚生に是非ご利用下さい！

**お問い合わせは** **0120-119-147 (生命保険)**

**0120-065-988 (損害保険)**

消防団体保険の収益は、全国消防救助技術大会の開催をはじめ、全国の消防職員のための事業の実施に活用されています。

# オープニング セレモニー



## ◆「パチ・ホリック」

日本中が猛暑となった今年の夏。眩しい夏の日差しが照りつける中、救助訓練棟前から京都らしい笛の音が鳴り響いた後、力強く心地良く身体を突き抜ける重厚な和太鼓の演奏が始まると、それまで会場を包んでいた張りつめた緊張感が一転、「祭り」の華やかな雰囲気になりました。

日本人の心に響く演奏をしていたのは、京都を拠点に、国内外で活躍されている和太鼓パフォーマンスグループ「パチ・ホリック」の皆さんで、和太鼓、踊り、笛、鳴物等による演奏は、来場された皆さんを楽しませるとともに、選手への気持を鼓舞し高まる緊張を力に変える迫力ある演奏により大会を大いに盛り上げていただきました。

セレモニー終了後、パチ・ホリック代表の黒坂周吾さんにお話しを伺いました。「今回の救助大会では、隊員の方のヘルメットに色々な地名が書かれており、各地で公演してきた私達もそれぞれの地名が懐かしき思えるとともに、各地で活動されている皆さんのような方がいて、故郷が守られているという認識し、非常に頼もしく感じました。さらには「今回の救助大会に参加されている隊員の皆さんの頑張っている姿をみて、



一人日本人としてすごく励まされるものがあります。ひたむきに訓練等に取り組んでいる皆さんには、今後もぜひ頑張っていたいだきたいと思えます。」とのことでした。

また、パチ・ホリックの前身となる大正時代の和太鼓サークルのメンバーから消防士になったメンバーもいらつしやることで、事前に救助大会について聞いてみたところすごい大会だという話を聞き、メンバーみんなで興奮されたそうです。

パチ・ホリックの皆さんは、「忘れかけたこの故郷の情熱」から「新しき情熱」を創ることをテーマに音楽活動をされているとのこと、インタビューの中では、消防や地域と協力し「火消しばやし」みたいなものができれば「地域の安全・安心に繋がる活動ができるのではないかと、地域や故郷を想う熱い気持ちをお持ちの「パチ・ホリック」の皆さんでした。

## ◆「京炎そでふれ！」

オープニングセレモニーをさらに盛り上げていただいたのは、京都地域に集積する50の大学・短期大学生で構成される「京都学生祭典 京炎そでふれ！」のおどろき手26名の皆さんがセンターステージに一齐に飛び出し、「パチ・ホリック」の皆さんとのコラボレーションによる「全国消防救助技術大会スペシャルステージ」の第2部が幕を開けました。

黒を基調とする留袖をリメイクした衣装に身を包み、京都「乙訓」名産の竹で作られた四竹（よつたけ）と呼ばれる鳴り物を手にし、京の都時代を彷彿させる華麗な舞や現代の活気あるヒップホップダンスなどを取り入れたオリジナルの創作おどりが披露されると、会場は一気にヒートアップし、手拍子が行われるほどに隊員をはじめとする来場者の心を魅了



しました。

「全国各地から消防職員が集まって行われる本大会の規模に驚き、また、ロープを渡る救助隊員さんを目の前にしてメンバー全員が釘付けになりました。大会だけでなく、日頃からこのような訓練などを通して、私たちの生活の安全を守ってもらっていることに改めて感謝と尊敬の思い一杯になりました。私達も特にこの時期の練習では、熱中症の対応や万一のためにAEDの取扱い講習などを受けて、突発の事故に備えるようにしています。」とおどろき普及部長を務める上中江里菜さん。

オープニングセレモニー後も大会会場のイベントとして、来場者と一緒に踊る「京炎そでふれ！」にご協力をいただき、子供たちと笑顔で踊っていた上中さんがとても印象的でした。

## レスキューキッズ スタンプラリー



会場を訪れた子供たちに、この機会により消防に親しんでもらおうと行なわれたのが、「レスキューキッズスタンプラリー」です。通過ポイントとして大会会場には3種類の訓練が用意され、別会場の市民防災センターには2種類のアトラクションが用意されました。日頃から地域の防災活動に活躍する京都学生消防サポーターも運営に加

わり、子供たちはすべてのスタンプを集めることを目指して、全種目制覇に挑みました。



- 大会会場実施種目  
放水訓練、ロープ渡過訓練、ほふく救出訓練
- 市民防災センター実施種目  
防火紙芝居、きつず・ぼうさいけんてい

本物の消防士さながらの体験をできる3種類の訓練が特に人気を集め、長蛇の列となっていました。子供たちの楽しみながらも、いつの間にか懸命に訓練に取り組んでいる姿が印象的でした。



## 消防車両展示

「すみません、写真撮ってもらっても良いですか？」と、不意に声をかけられ振り向くと、日傘を持ったうら若き女性。もちろん！と快諾すると「ここでお願いしま〜す」と早速ポーズ。それは京都市消防局が誇る「スーパーコマンドーレスキューチーム」の車両の前でした。

聞けば、大の消防車ファンとの事で、装備資機材についても非常に博覧で、教えていただく事もしばしば。世の中は広いです…。



## 京炎 そでふれ！

全国救助技術大会ということで、イベントスペース東側では「京炎 そでふれ！」が演舞されました。

軽快なリズムとともに、堰を切ったように踊り手さん達が走って定位置につくと、情熱的な踊りが始まり、激しく、熱い舞が来場者を魅了していました。

演舞の途中、踊り手さん達が、来場していた子供や周囲の観客に、手とり、足とり、熱心に踊りを教えて、最後は皆と一緒に「京炎 そでふれ！」を演舞。子供も大人も、踊り手さんも汗だく！しかし、最高の笑顔でした。

皆が一つになった演舞は、まさに「KIZUNA」で結ばれていました。



## 京の名産品展

特設会場では、京都の歴史と伝統を受け継ぐ老舗の味を一堂に集めた「京の名産品展」が設けられました。所せましと並んだ名産品の前には、お土産として買って帰る一般来場者や消防隊員が、どれにしようかと悩んでいる姿が見えました。



## 起震車体験

「地震が起きたらどうするの」と言われ、必死にテーブルの下に隠れる少年の姿がありました。阪神淡路大震災と同じ揺れの大きさだよと教えられ、「こんなにすごかったのー」と驚きを隠せない様子で体験していました。



## 消防士に変身

イベントブースで取材を続けていると、突然「かわいいー」と黄色い声。

何かと思い、その方向に目を向けると、女性がカメラ片手にオレンジ色の物体を追いかけていました。そのオレンジ色の物体は…小さな救助服を着て会場内を飛び回っていた“小さな消防士”でした。

それぞれお気に入りの消防士になり、ご満悦のVサイン。

子供と言えども救助服を着ると、なんだか頼もしく思えてくるのが不思議でした。

また、小さな子に優しく、丁寧にミニ防火衣を着せていたスタッフの皆さん。記録的な猛暑の中、汗だくで大変そうでしたが、「子供たちのうれしそうな笑顔を見るのがうれしいです。」と話してくれました。



# ●● 大会ダイジェスト ●●

